

(別 添)

1. 構造名

スレート・硬質木片セメント板・フェノールフォーム保温板/軽量鉄骨造屋根

2. 形状及び寸法等

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
屋根寸法	・幅 910 以上 ・長さ 303 以上 ・厚さ 139 以上
母屋間隔	2000 以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
①荷重支持部材 (たる木)	一般構造用軽量形鋼 ・規 格 JIS G 3350 ・断面形状 □-100×50×20×2.3 の断面寸法以上 (野地板の目地部は 2 本使用) ・間 隔 606 以下
②屋根葺材	スレート 住宅屋根用化粧スレート ・規 格 JIS A 5423 ・形 状 ㊶、㊷のうち、いずれか一仕様とする ㊶) 平形屋根スレート ㊷) 波形屋根スレート (別添-27 参照) ・働 き 幅 600 以上 910 以下 ・働 き 長 さ 150 以上 225 以下 ・単 位 面 積 質 量 44.4kg/m ² 以下
③木棧	木材 ・寸法 15 以上×21 以上

項 目	申 請 構 造
④野地板	<p>[1] 硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 5404 ・厚 さ 18\pm2以上 ・寸 法 910\pm0.5\times1820\pm0.5 <p>[2] フェノールフォーム保温板</p> <p>(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 9511 ・組 成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> フェノール樹脂 100 炭 化 水 素 2～7(外割) ・面 材 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ポリエステル系不織布(20～40g/m²) 2) ポリプロピレン系不織布(20～40g/m²) 3) ポリエチレン系加工紙(20～40g/m²) <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1514 4) アルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1520 5) 不燃性の加工紙 <ul style="list-style-type: none"> (6) けい酸マグネシウム紙 ガラス繊維紙 アルミニウム ガラス繊維複合紙 ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(2) 両面無機質混沙紙張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-9699)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(3) 両面パルプ・ガラス繊維混入けい酸マグネシウム混沙紙張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0021)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(4) 両面エポキシ樹脂系塗装アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0054)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(5) 両面アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 ／フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0055)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(6) フェノールフォーム充てん／両面ポリエステル不織布裏張・エポキシ系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定:NM-0315)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
④野地板(つづき)	<p>(7) 両面アルミニウムはく・ガラスクロス張/両面ガラス繊維不織布張 /フェノール樹脂発泡板(国土交通大臣認定:NM-0191)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚 さ 20~75・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(8) フェノールフォーム充てん/両面ポリエステルアルミニウム不織布裏 張・エポキシ系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定: NM-0636)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚 さ 12~66・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(9) フェノールフォーム保温板充てん/両面エポキシ系樹脂塗装アルミニウム合金はく (国土交通大臣認定:NM-3815)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚 さ $19.76_{\pm 2} \sim 66_{\pm 7}$・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>[3] 接着剤</p> <p>(1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 変成シリコン系接着剤<ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m²以下(2) エポキシ系接着剤<ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m²以下(3) 酢酸ビニル系接着剤<ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m²以下(4) 合成ゴムラテックス系接着剤<ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m²以下

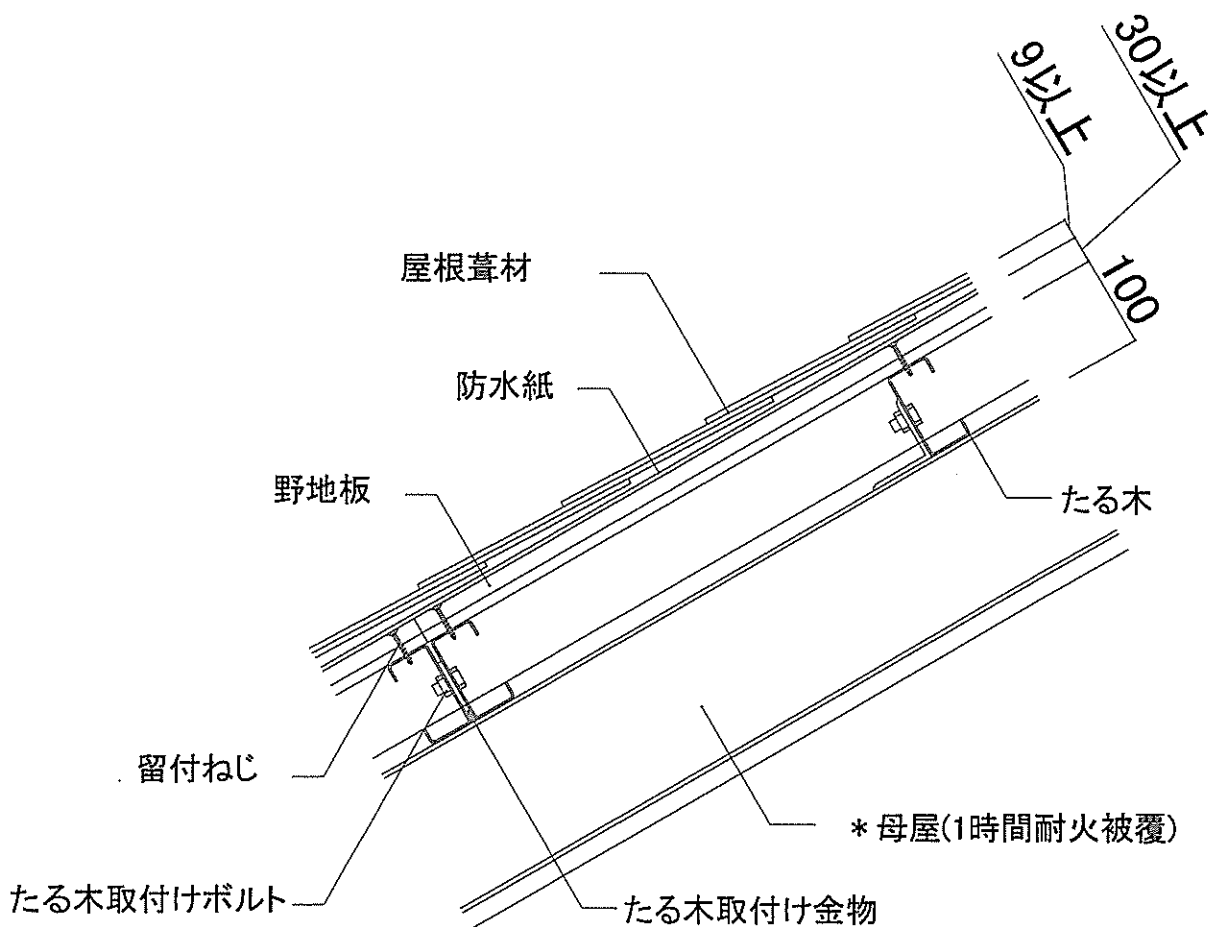
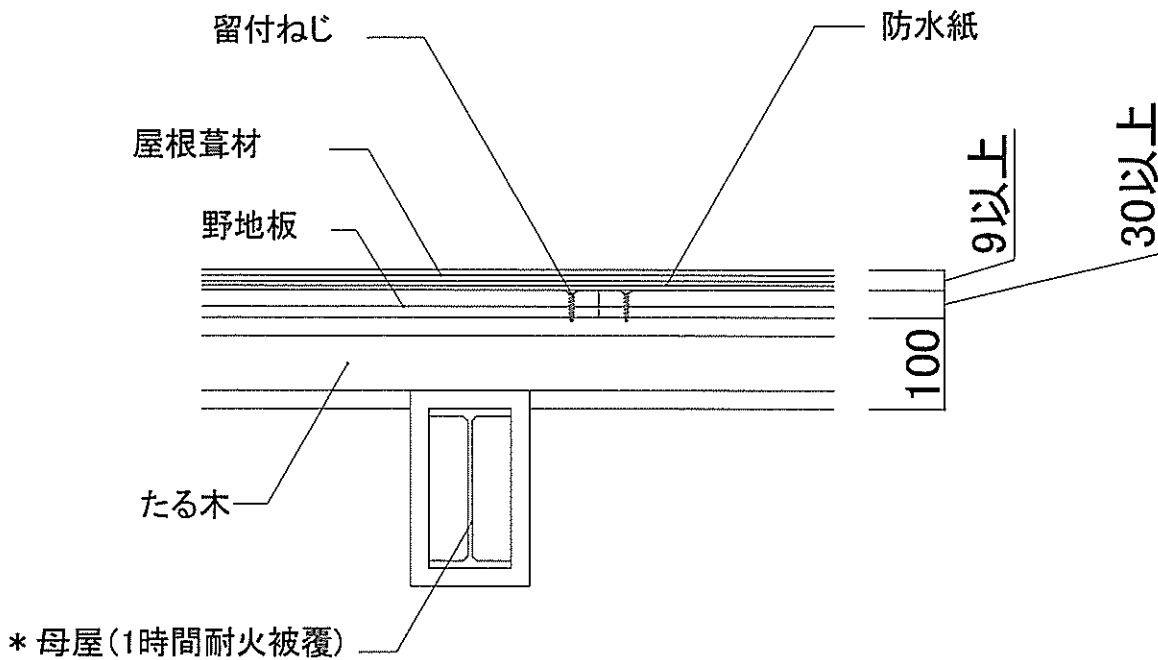
2) 副構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	申 請 構 造
①留付ねじ	<p>[1] 野地板用</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1122 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(2) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1125 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(3) リーマ付ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>(4) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 <p>[2] 屋根葺材用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS B 1115 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下 <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下
②防水紙	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アスファルトルーフィング 940</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 <p>(2) アスファルトフェルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430～650g/m² 以下
③たる木取付け金物	<p>一般構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 ・寸法 L-75\times75\times6 の断面寸法以上 ・寸法 FB-6\times75\times75 の断面寸法以上 (たる木ダブル部位仕様)
④たる木取付けボルト	<ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS B 1180 ・寸法 M12 以上\times・25 以上

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

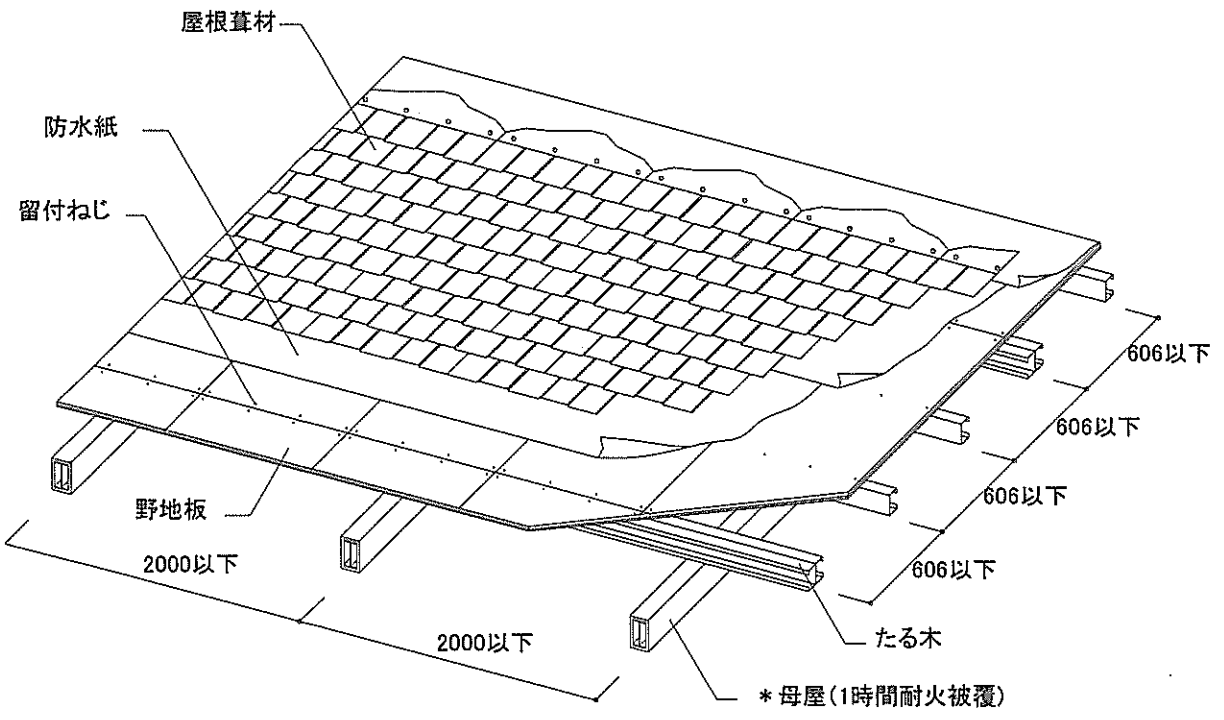
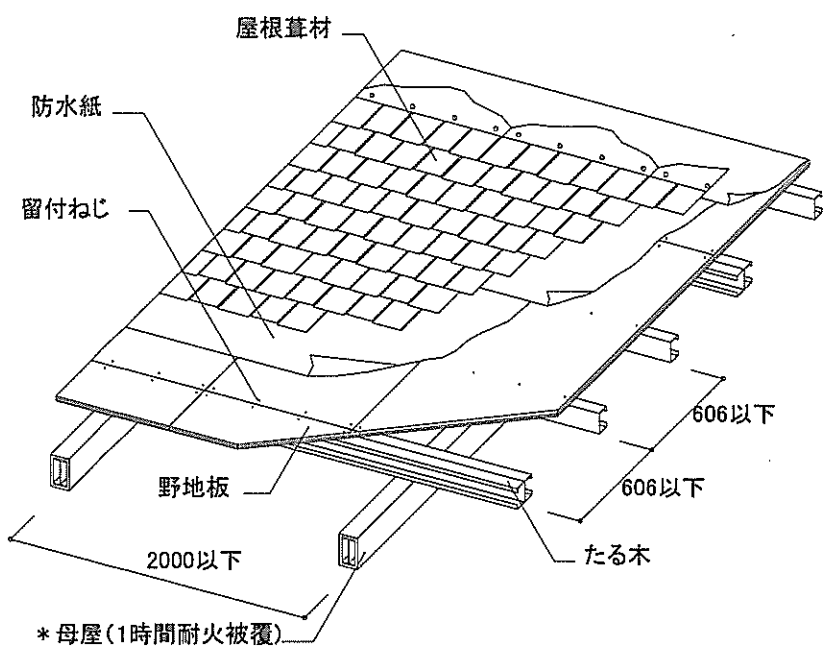


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* :本評価内容に含まない

5. 施工方法等
 <施工図>

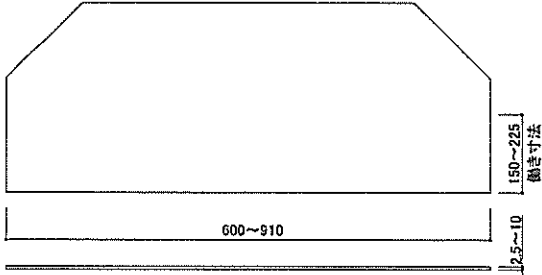
(寸法単位：mm)



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり
 * : 本評価内容に含まない

葺材形状

(寸法单位：mm)



<施工手順>

1) 下地工程：

- ・母屋は構造耐力上安全なものとし、耐火1時間の被覆を施す。ただし平成12年度建設省告示第1399号第4第三号二の規定に該当する場合には、耐火被覆をなくしてもよい。
- ・垂木の間隔は606mm以下とする。

2) 野地板の取付け：

- ・割付に従って、野地板を留付ねじで間隔303mm以下にたる木に留付ける。

3) 屋根仕上げ：

- ・野地板の上に防水紙を重代100mm以上にて葺き防水する。
- ・屋根葺材は、不燃材料で葺上げる。